

チヨウの住むまち「倉松川のチヨウ」

ひろしは、チヨウが大スキです。ひろしの住む倉松川のまわりには春、夏、秋、冬いろいろなチヨウがとんできます。ここは、倉松川をあいする会の人たちもせいそう活動かつどうをしています。

だいこんの花に、スジグロシロチヨウがとんできました。ひろしは、そつと見つめていました。

四月 だいこんの花にとまるスジグロシロチヨウ



「あ、みつを飲んでるよ。はねを上げたり下げたりしているね。」

あたたかい風にふかれて、チヨウはゆったりととまっています。ひろしは、とてもうれしくなりました。

夏には、めずらしいチヨウに会えます。

八月 ウマノスズクサにとまるジャコウアゲハ



ジャコウアゲハのたまご



「おじいちゃん、あのチヨウはなあに。」
「ジャコウアゲハといって、このあたりにしかいないチヨウだよ。」
「え、どうして。チヨウは、どこにでもいるんじゃないの。」

「ジャコウアゲハは、春日部の倉松川に生えているウマノスズクサを、食べて育そだんだよ。おじいちゃんたちが植うえたんだよ。」

おじいちゃんの話聞いてひろしは、ふしぎだと思いました。

寒さむくなるころに、おじいちゃんの庭にわにはねを休めるめずらしいチヨウが見られました。

十二月 めずらしいムラサキシジミ



「ねえ、おじいちゃん、チヨウはこんなに寒さむくなってもいるんだね。」

「そうだね。ムラサキシジミというチヨウだよ。なかなか見つからないめずらしいチヨウなんだよ。小さくてきれいな色をしているね。」

よく見ると、むらさき色でほう石ほういしのようです。

ひろしは、チヨウの美うつくしさにうっとりしています。「きれいだなあ。もつとチヨウをたくさん見たいなあ。」

と、ひろしは思いました。

春日部で見られるチヨウ



七月 はねを休めるアオスジアゲハ



四月 りんごの木にとまるツマキチヨウ



七月 みつをすうツマグロヒヨウモン



六月 後ろばねの先が出ているキアゲハ

（あたたかくなったら、どんなチヨウに会えるのかな……。）
ひろしは、いろいろなチヨウが住める春日部がますますすきになってきました。